

《令和4年度 健康福祉部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長	永池 孝志
理事	山本 大貴

**主** 令和4年度当初予算概要「主な事業の概要」に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載している

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
1	<p>&lt;健幸&gt; 将来的な高齢化・人口減少を見据え、誰もが生きがいを持ち、健やかで幸せになれる「健幸都市くさつ」を目指し、草津市健幸都市基本計画に基づき、まちづくりの中核に「健幸」を位置づけ、「まち」「ひと」「しごと」の3つを柱として、個人の健康づくりにとどまらず、都市計画・建築、まちづくり、産業などの幅広い分野において、産学公民連携を進め、市の総合政策として、健幸都市づくりを推進する必要があります。</p>

2. 重点目標	
①	<p>健幸都市くさつの実現に向け、市民、地域、大学、企業、団体などあらゆる主体と連携し、健幸都市づくりの取組を総合的に実施していきます。</p>

3. 目標達成のための取組と成果目標	
①	<p><b>【取組】</b> 「草津市健幸都市基本計画」の各事業について、「草津市健幸都市づくり推進委員会」で進捗管理を行うとともに、市の総合政策として部局横断的な取組を進めます。(事業費 9,105千円) ※草津市健幸都市づくり推進本部会議関連事項 ①くさつ健幸ステーションの拡大検討 ②草津川跡地公園での健幸イベントの開催(令和4年9月予定) ③「健幸都市くさつ」の広報・啓発 ④健幸都市賛同事業所の拡大 ⑤産学公民が連携した健幸関連事業の実施 ⑥庁内横断的な健幸都市づくり推進チームの活動 ⑦(仮称)第2期草津市健幸都市基本計画の策定(令和3～4年度)</p> <p><b>【成果目標】</b> ・草津市健幸都市宣言賛同事業所数の増加 20事業所(令和3年度:14事業所 累計228事業所) ・健幸フェアにおけるブース出店 20事業所以上(令和3年度:16事業所)</p>

4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組 【年度未実績】	
<b>主</b>	<p><b>【取組実績】</b> 「草津市健幸都市基本計画」に位置付けられた各種事業について、健幸都市づくり推進委員会等で進捗管理を行いながら取組を進めました。(事業費 9,105千円) ①くさつ健幸ステーションの拡大 2か所増 (令和3年度末24か所→令和4年度末26か所) ②「みんなの健幸フェア」開催 9月11日 ③「健幸都市くさつ」啓発用マグネットシート、携帯用消毒液の制作 ④下記「成果目標実績」参照 ⑤産学公民が連携した健幸関連事業の実施:フレンドマート草津大路店と連携した健幸イベント(キラリエまつり)を共同開催。また、立命館大学と連携し(市後援)、「BKCウェルカムデー～びわこくさつ健幸フェスタ2022～」に市の複数の部署がブース出展 ⑥健幸都市づくり推進チームによる「健幸都市づくり」関連事業の政策提案(5事業を提案、うち2事業が令和5年度予算化) ⑦「くさつ健幸ガイドブック～草津市健幸都市づくり基本方針～」を策定(基本方針期間:令和5年度～令和14年度)</p> <p><b>【成果目標実績】</b> ・草津市健幸都市宣言賛同事業所 7事業所増 (令和3年度末:228団体→令和4年度末:235団体) ・健幸フェア出展:13事業所</p>

2	<p>&lt;地域福祉&gt; ・少子高齢化や小世帯化、身近な地域社会の変化などにより、地域の中での社会的なつながりが希薄化し、地域コミュニティの持つ「地域力」が低下しています。住み慣れた地域で誰もが安心して暮らすことができるよう、第4期草津市地域福祉計画に基づき、「助け合い・支えあい」を未来につなげるまち ～いつまでも健幸で地域力のあるまち草津を目指して～」を理念として、地域共生社会の実現に向けて取り組んでいく必要があります。 ・昨今の新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会情勢の影響や生活上の課題の複合化等によって、市民の間に生活の安定を確保することが困難な状況が生じています。 ・課題を抱える人・世帯の把握に努め、生活保護制度、生活困窮者自立支援事業、就労支援等により総合的に支援する必要があります。</p>
---	--

②	<p>・「地域共生社会の実現」に向け、住民が世代を超えてつながり、地域の中で活動する人を広げ、地域福祉活動の充実を図ります。 ・福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮者、複合的な生活課題を抱える人、ひきこもりや生きづらさを感じている人・世帯の早期発見に努め、様々な福祉課題に対して、総合的な相談・支援を行います。 ・健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立生活の確立に向けた援助を行います。</p>
---	--

②	<p><b>【取組】</b> 地域福祉活動の中心的な役割を担う市社会福祉協議会を支援し、各種地域福祉関連事業を推進するとともに、担い手の育成を支援します。 ・福祉活動推進員育成事業(福祉教養大学・大学院等の開催) ・ボランティア活動支援事業(ボランティア団体への支援、ボランティアの連携強化、活動の活性化支援等)</p> <p><b>【成果目標】</b> ・地域福祉活動の担い手の育成(福祉教養大学のアンケートにおいて、今後の活動につながると回答した卒業生の割合 8割以上(令和3年度 81%) ・ボランティアセンター登録者数 6,500人(令和3年3月 5,928人)</p>
③	<p><b>【取組】</b> 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、生活困窮や多様な複合的な悩みへの相談に対応するとともに、支援関係機関との連携を密にし、生活困窮者自立支援事業を効果的に活用することで支援の充実を図ります。また、ひきこもりや生きづらさを感じている人への相談・支援を行い、ニーズに応じた支援制度へつないでいきます。 (生活困窮者自立支援事業費:31,105千円 内、住居確保給付金:11,802千円)</p> <p><b>【成果目標】</b> ・「人とくらしのサポートセンター」による相談支援 456件以上(令和3年度実績1,043件)(実件数) ・ひきこもり(ニートを含む)の相談件数 45件以上(令和3年度実績45件)(実件数) ・ひきこもり者(ニートを含む)への訪問相談回数 25件以上(令和3年度実績25件)(延べ件数)</p>
④	<p><b>【取組】</b> 生活に困窮する方に対して、困窮の程度に応じ、生活保護を適切に適用します。(生活保護事業費:1,841,320千円)</p> <p><b>【成果目標】</b> ・生活に困窮する方に対して、生活の安定を保障するとともに、就労支援などの自立支援を行います。 ・就労による生活保護廃止(自立)件数を25人(令和3年度実績21人)とします。</p>

②	<p><b>【取組実績】</b> 市社会福祉協議会の事業支援を行い、地域福祉活動の推進、ボランティア活動の活性化等(ボランティア活動団体への支援、ボランティアマルシェを通じた団体間の連携強化等)を図りました。 (事業費 1,654千円)</p> <p><b>【成果目標実績】</b> ・アンケート調査において、7割以上の卒業生が今後の活動につなげていくとしています。 71.4% 福祉教養大学の開催 5回開催、大学院 6講座 11回開催 ・ボランティアセンター登録者数 5,841人</p>
③	<p><b>【取組実績】</b> 福祉の総合相談窓口「人とくらしのサポートセンター」において、庁内関係課や外部団体と連携し、多様な複合的な悩みなどの相談支援を行うとともに、ホームページや広報くさつへの掲載等により周知を図りました。また、生活困窮者自立支援事業においては、自立相談支援、住居確保給付金、就労準備支援事業、一時生活支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習支援事業等の事業に取り組みました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、生活に困窮する世帯に対して、住居確保給付金制度の適用や社会福祉協議会の緊急小口資金特例貸付・総合支援資金特例貸付(令和4年9月末で申請終了)や、10月以降は通常の緊急小口資金等を紹介するなど支援を行いました。また、特例貸付終了者に対しては、生活困窮者自立支援金(令和4年12月末で申請終了)の支給を行いました。 (生活困窮者自立支援事業費:25,398千円 内、住居確保給付金:6,499千円)</p> <p><b>【成果目標実績】</b> ・人とくらしのサポートセンター 総相談件数698件(実件数) 内、生活困窮者自立相談674件、総合相談24件(各実件数) ・住居確保給付金 62件(実件数(延長、再延長、再々延長、再支給含む)) ・就労準備支援事業 8件(実件数) ・一時生活支援事業 14件(実件数) ・家計改善事業 21件(実件数) ・子どもの学習支援事業 4件(実件数) ・ひきこもり(ニートを含む)の相談件数 43件(実件数) ・ひきこもり者(ニートを含む)への訪問相談回数 20件(延べ件数)(実件数7件)</p>
④	<p><b>【取組実績】</b> 生活保護の申請があった場合には訪問調査、資産調査等を行い、適切に保護の適用を行いました。また、ハローワークと連携を図り、就労支援を行いました。</p> <p><b>【成果目標実績】</b> ・就労による生活保護廃止(自立)件数 18人 (ハローワークとの連携(生活保護受給者等就労自立促進事業)による就労開始件数9件(事業利用者数19件)) ・生活保護関連 生活保護相談件数(延べ)175件、生活保護申請件数184件、生活保護開始件数149件、生活保護廃止件数104件、生活保護費 1,787,812千円</p>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	
3	<p>&lt;子育て支援の充実&gt; 本市の人口は現時点では増加が続いていますが、将来的には人口減少局面を迎えることが想定されるため、社会減に陥らないための対策を講じる必要があります。</p>

2. 重点目標	
③	<p>子どもに対する医療費の助成を充実させることによって子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、より子育てしやすいまちづくりを目指します。</p>

3. 目標達成のための取組と成果目標	
⑤	<p>【取組】 ・現在、小学3年生までを対象としている通院医療費の助成について、令和4年10月から小学6年生(当該年度中に満12歳に到達する人)まで入院・通院とも現物給付(医療機関で健康保険証と「福祉医療費受給券」を提示し、医療サービスを受ける給付方法)による医療費助成を実施します。</p> <p>※これまで入院医療費は中学3年生まで償還払(健康保険の一部負担金「3割」を支払い、後に市への申請により償還を受ける給付方法)にては助成済です。</p> <p>【成果目標】 子育てしやすいと思う市民の割合 87.7%(令和4年度)(令和3年度実績:88.7%)</p>

4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組 【年度末実績】	
⑤	<p>【取組実績】 ・市民や医療機関へ周知のうえ、令和4年10月から小学4年生から小学6年生についての現物給付による医療費助成を開始しました。 ・新たに助成対象とした方の人数 4,081人(令和4年度末実績)</p> <p>【成果目標実績】 ・「子育てしやすいと思う市民の割合」は、目標値を達成しました。 87.7%(令和4年度アンケート結果)</p>

4	<p>&lt;障害福祉&gt; 平成31年4月から「滋賀県障害者差別のない共生社会づくり条例」が施行されたことから、障害のある人の暮らしを支えるサービスのさらなる充実を図るとともに、「障害」と「障害のある人」への理解の促進と尊厳の保持に努め、社会のあらゆるバリアを無くし、福祉のまちづくりのさらなる推進に取り組む必要があります。</p>
---	--

④	<p>・「障害のある人もない人も、誰もがいきいきと輝けるまち」の実現のため、「障害」と「障害のある人」への理解促進の啓発を行うとともに、障害のある人が安心して暮らすことができるための総合的な障害者施策を実施します。 ・障害福祉サービスの担い手となる、障害福祉施設・サービス事業所等の社会資源拡充のための取組を進めます。</p>
---	---

⑥	<p>【取組】 ・街頭啓発や職員研修、および広報等により障害者理解促進のための啓発を行います。 ・障害のある方に対して、障害特性に応じたサービス提供、また、地域のニーズにあった社会資源把握のためにアンケート調査を実施し、社会環境づくりの促進を行います。</p> <p>【成果目標】 理解促進啓発事業 5回実施(令和3年度実績:7回)</p>
⑦	<p>【取組】 相談支援体制の充実を図るため、新たな相談事業所の参入について、指定勧奨を行い、社会資源の充実を図ります。</p> <p>【成果目標】 新規指定件数 2件(令和3年度実績:1件)</p>

⑥	<p>【取組実績】 ・職員研修、および広報等により障害者理解促進のための啓発を行いました。 ・障害のある方に対して、障害特性に応じたサービス提供、また、地域のニーズにあった社会資源把握のためにアンケート調査を実施しました。</p> <p>【成果目標実績】 ・理解促進啓発事業 5回(研修2回、広報特集記事1回、パネル設置1回、のぼり旗設置1回) ・アンケート調査 3,000件(身体650件、知的550件、精神550件、難病550件、一般市民700件)</p>
⑦	<p>【取組実績】 新たな相談支援事業所の開所に向けて、事業所訪問や基幹相談支援コーディネーター等と協力しながら事業所指定における周知を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 新規指定件数 2件</p>

主

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)
<p>&lt;健康&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化の進展や生活習慣病の増加等を背景に、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間(健康寿命)の延伸が必要となっています。</li> <li>・健康くさつ21(第2次)に基づき、「誰もが健康で長生きできるまち草津」を目指し、市民一人ひとりが健康づくりに関心を持ち、自らが健康づくりに取り組むことが重要です。</li> <li>・第3次草津市食育推進計画に基づき、「ココロ豊かにカラダ元気に食で進む笑顔があふれるまち草津」を目指し、産学官民が連携して食を通じた健康づくりに取り組む必要があります。</li> <li>・高齢社会を背景にがんは死亡原因の第一位になっています。がんは早期発見・早期治療が可能となってきたことから、がん検診が極めて重要ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により個別受診勧奨を控えた検診については受診率も伸び悩んでいる状況です。</li> <li>・様々な感染症やがん等の予防のため、必要な予防接種の積極的勧奨を行うことで、望ましい時期に接種が行えるよう支援することが求められています。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の蔓延による経済悪化や生活環境の変化等の影響を受け、心身の不調をきたす人が増えることが懸念されており、心身の健康づくりの取り組みを強化する必要があります。</li> </ul>

2. 重点目標
<p>⑤ 乳幼児期から高齢期までのライフステージに応じた健康増進の取組を推進します。</p> <p>・市民の健康づくりを推進するため、様々な地域団体、関係機関との連携を強化・拡大し、地域や市民との交流や参加を通して健康啓発や生活習慣の改善につながる取り組みを行います。</p> <p>・かけがえのない"いのち"を大切にす社会の実現を目指し、市民、行政、関係機関、関係団体等が連携を図りつつ、総合的な自殺対策を推進します。</p> <p>・地域特性を踏まえた地域の主体的な健康づくりを推進します。</p>
<p>⑥ 疾病の予防と早期発見のため、コロナ禍であっても安心して予防接種やがん検診を受けていただける体制を整え、疾病に対する正しい理解の普及と予防の啓発、受診や接種の勧奨等について取り組みを行います。</p>

3. 目標達成のための取組と成果目標
<p>⑧ 【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草津市立市民総合交流センター(キラリエ草津)において、主に働く世代に対して、糖尿病予防のための健康づくりの意識醸成・向上のため、健康増進・健康づくりに関する多目的イベントを実施します。</li> <li>・医・歯・薬の専門的指導・助言を得られる機会を通じた健康増進のきっかけづくりを行うと共に、かかりつけ医療の普及啓発を実施します。</li> <li>・「くさつ運動チャレンジ」、「草津ベジランチ」について一体的に取り組み、イベント時期に合わせ実施します。</li> <li>・草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」を広くPRし、活用を広めていきます。</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三師会等連携協議の実施 2回以上実施</li> <li>・糖尿病予防について考えることができた人(イベント時のアンケート) 100%</li> <li>・草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」アクセス数100,000(令和3年度実績:81,060)</li> </ul>
<p>⑨ 【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民一人ひとりが心身の健康づくりへの関心を高め、心身の不調に気づき行動できるよう、ゲートキーパーの養成に取り組むとともに、相談支援のネットワークを構築します。</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民対象ゲートキーパー研修のアンケートで「気づいて行動に移すことができる」と回答した人数 50人以上(令和3年度実績:23人/25人中)</li> <li>・職員対象ゲートキーパー研修の受講者数 50人以上(令和3年度実績:114人)</li> </ul>
<p>⑩ 【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学区の健康データをもとに、地域の特性や健康課題について各まちづくり協議会と共有を図り、生活習慣病予防や介護予防に向けた地域の主体的な健康づくりを推進します。</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性に応じた健康づくりを進めることができた学区数 14学区(令和3年度実績 9学区)</li> </ul>
<p>⑪ 【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPVワクチンの正しい情報提供、接種勧奨を行い、接種率向上を図るとともに、接種機会を逃した対象者への接種を行います。</li> <li>・造血幹細胞移植後等の治療後に、一度獲得した疾病への抗体が消失し、再接種が必要となった者に対して再接種費用及び抗体検査費の助成を行います。</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPVワクチン定期接種回数1,800回、接種機会を逃した対象者の接種回数1,350回(令和3年度実績:HPVワクチン定期接種回数948回)</li> </ul>
<p>⑫ 【取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳がんの予防と早期発見のため、イベント等で乳がんの触診モデルを使い、疑似体験やがんに対する正しい知識の普及啓発と乳がん検診の受診勧奨を行います。</li> </ul> <p>【成果目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草津市乳がん検診受診率11.1%(令和3年度実績:11.2%)</li> </ul>

4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>主</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大の影響をうけ、9月に開催予定であったイベントが中止となりましたが、三師会を含む関係機関と会議を重ね、糖尿病対策の現状等を共通認識できました。来年度イベント実施に向けて、市民へ効果的に啓発するための内容等を検討しました。</li> <li>・イベントは中止となりましたが、運動の習慣化をめざした「くさつ運動チャレンジ」と野菜の摂取量増加をめざした「草津ベジランチ」を一体的にし取り組んだ「食と運動プロジェクト」を実施しました。</li> <li>・草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」で食の啓発を行いました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三師会等連携協議の実施 4回</li> <li>・(イベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施は中止)</li> <li>・草津市クックパッド公式キッチン「草津・たび丸Kitchen」アクセス数 90,490</li> </ul>
<p>主</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が身近な人のこころの不調に気づいて行動できるよう市民対象のゲートキーパー養成研修を実施し、受講後のアンケートでは、約8割以上が今後ゲートキーパーとして行動できると回答しました。また、市職員や関係機関向けのゲートキーパー養成研修を実施し、相談窓口等での適切な対応やゲートキーパーとしてのスキルアップを図りました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民対象ゲートキーパー研修のアンケートで「気づいて行動に移すことができる」と回答した人数 39人</li> <li>・職員等対象ゲートキーパー研修の受講者数 104人</li> </ul>
<p>⑩</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性や健康課題について各まちづくり協議会や民間企業等と共有を図り、ポピュレーションアプローチや健康講座等の取組や、地域の主体的な健康づくりを推進しました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の特性に応じた健康づくりを進めることができた学区数 14学区</li> </ul>
<p>主</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPVワクチンの正しい情報提供、接種勧奨を行いました。(定期接種対象者 3,253人、接種機会を逃した対象者 5,396人に勧奨通知を発送)</li> <li>・造血幹細胞移植後等の治療後に、一度獲得した疾病への抗体が消失し、再接種が必要となった者に対して再接種費用及び抗体検査費の助成を行っています。リーフレットを作成し、予防接種実施医療機関、規模の大きい病院に周知しました。</li> <li>・(市内予防接種実施医療機関 83箇所、市外医療機関 7箇所)</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HPVワクチン定期接種回数 1,165回</li> <li>・接種機会を逃した対象者の接種回数 1,374回</li> </ul>
<p>⑫</p> <p>【取組実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キラリエまつりや立命館大学健幸フェスタ等のイベントで乳がんの触診モデルを使い、疑似体験やがんに対する正しい知識の普及啓発と乳がん検診の受診勧奨を行いました。また、ナッジ理論を活用した個別勧奨・再勧奨通知や集団けん診の実施回数を増やし、受診率が増加しました。</li> </ul> <p>【成果目標実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草津市乳がん検診受診率13.3%</li> </ul>

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)
<p>&lt;保険&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化の進展や医療の高度化に加え、保険料の負担能力が低い方々の加入割合が高いなど、国民健康保険制度の運営は厳しい状況です。</li> <li>保険財政の適正運営と被保険者負担の上昇の抑制を図るため、健康の保持・増進と医療費の適正化に努める必要があります。</li> </ul> <p>6 草津市国民健康保険保健事業推進計画のデータ分析結果では、糖尿病の合併症である腎不全に係る医療費の割合が高くなっていることから、特定健康診査および特定保健指導による疾病の予防や早期発見、糖尿病を含む生活習慣病の重症化予防に取り組む必要があります。</p>

2. 重点目標
<p>7 健康の保持・増進と医療費の適正化に向けて生活習慣病の早期発見や予防を図るため、特定健康診査の受診率の向上等に向けた取組を行います。</p> <p>また、糖尿病を含む生活習慣病の重症化予防を図るため、医療機関への受診と治療継続を促すとともに、かかりつけ医と連携した保健指導を実施します。</p>

3. 目標達成のための取組と成果目標
<p>13</p> <p><b>【取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査の未受診者に対して、過去の受診履歴や傾向を分析し、受診勧奨通知等の受診率向上対策を行います。また、特定健康診査の受診機会の拡充のため、被用者保険との連携による集団健診を実施します。</li> <li>特定保健指導の対象者に対して、土日にも個別勧奨および保健指導を実施します。またコロナ禍でも安心して受けてもらえるようオンライン面談を希望者には行います。</li> <li>糖尿病治療中断者を訪問し、治療状況を聞き取りのうえ受診勧奨を行います。</li> <li>滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、ハイリスク者に対し、かかりつけ医と連携した保健指導を実施します。</li> </ul> <p><b>【成果目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健康診査実施率達成目標 55%(令和3年度末実績 36.2%)</li> </ul>

4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>主</p> <p>13</p> <p><b>【取組実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診受診勧奨対象者の過去の受信状況等のデータ分析を行い、対象者の特徴に応じた勧奨通知を送付しました。        &lt;通知件数:7月…13,807通、8月…12,983通、9月…9,603通、11月…12,365通、12月…451通&gt;</li> <li>特定健診未受診者に対して、電話による受診勧奨を実施しました。        &lt;電話回数:112件 うち在宅41件、「受診する」と回答した者9件&gt;</li> <li>全国保険協会滋賀支部やパソニック健康保険組合との連携による集団健診を実施しました。&lt;開催回数9回、受診者数445人&gt;</li> <li>明治安田生命相互会社および第一生命保険株式会社との健康都市づくりの推進に向けた連携協定に基づき、集団健診会場に健康ブースを設置するとともに、保険外交員による啓発チラシの配付を行いました。        &lt;健康ブースによる健康啓発:6回、啓発チラシ:6回&gt;</li> <li>糖尿病の発症または重症化を予防するため、治療中断者等のハイリスク者に医療機関への受診を勧奨するとともに、医療機関と連携した保健指導を実施しました。        &lt;対象者55人…通知や訪問、電話での受診勧奨のうち保健指導を実施した人…2人&gt;</li> <li>特定保健指導の対象者に対して、土日、夜間の利用勧奨や指導を実施し、電話による再勧奨、再々勧奨を実施することやオンラインでの面談を導入し自宅などで面談できるようにして利用方法の選択肢を拡げ、実施率向上を目指しました。        また、イベント型特定保健指導を実施し、実施率の向上を目指しました。</li> <li>滋賀県糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、ハイリスク者に対して、受診勧奨とかかりつけ医と連携した保健指導を実施しました。</li> </ul> <p><b>【成果目標実績】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度 特定健康診査実施率 38.8%(年度末実績)</li> </ul>

<p>1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)</p>	<p>7 &lt;長寿・介護&gt; ・高齢化の進展に伴い、医療と介護の両方を必要とされる高齢者が 増える中、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる よう、ニーズに合った医療と介護のサービスが切れ目なく一体的に提 供されるための医療・介護の連携体制の充実が求められています。 ・認知症の人の数は年々増加し、団塊の世代が75歳以上となる2025 年には高齢者の約5人に1人が認知症と見込まれています。認知症 は、多くの人にとって身近なものとなっており、認知症があっても安心 して生活できるまちづくりが求められています。 ・コロナ禍に伴う外出自粛で高齢者の外出機会が減少し、「動かない こと」による健康への悪影響が心配されています。 ・高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるよ う、地域において高齢者の生活を支える医療・介護・予防・住まいが 一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の深化・推進を図って いく必要があります。 ・介護を必要とする高齢者が増加する中、介護者の負担軽減が図ら れるとともに、利用者に適正なサービスが提供される持続可能な制 度運用が求められています。</p>	<p>8 &lt;ワクチン&gt; 新型コロナウイルスワクチンについては、予防接種法に基づき、住 民への円滑な接種を実施するため、必要な体制確保が市町等に求 められています。</p>
---	---	---

<p>2. 重点目標</p>	<p>⑧ 医療と介護の両方を必要とする高齢者の在宅生活を支えるた め、地域における医療・介護の多職種による切れ目のない支援 体制の構築を図るとともに、コロナ禍においても、連携体制が確 保されるよう努めます。</p>	<p>⑨ すべての市民が人として尊重され、一人ひとりがいきいきと輝 き、安心して暮らすことのできるまちの実現に向けて、草津あん しんいきいきプラン第9期計画(令和6年度～令和8年度)の策定 にかかる検討および調査を行います。</p>	<p>⑩ 草津市認知症があっても安心なまちづくり条例および草津市 認知症施策アクション・プラン(第3期計画)に基づき、「認知症の 正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進」、「認知症 の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進」に重点を おき各種施策の取組を進めます。</p>	<p>⑪ コロナ禍であっても、感染予防対策を図りつつ 健康寿命の延 伸を目指し、高齢者が自ら有する能力を生かして社会参加を通 じた介護予防や、疾病予防・重度化防止などの健康づくりに取り 組むことができるよう、保健事業と介護予防事業の一体的な取 組を進めます。 また、地域サロンやいきいき百歳体操などの住民主体による 活動の展開・充実を図り、住み慣れた地域で安心して暮らし続 けることができるまちづくりを推進します。</p>	<p>⑫ 地域における支え合いの体制構築に向け、行政、地域住民、 市社会福祉協議会、地域包括支援センター、その他関係する団 体との協働により地域づくりを推進します。</p>	<p>⑬ 介護が必要になっても住み慣れた地域で生活が維持できるよ う、また、介護者の負担減に向け介護保険サービスや各種支援 制度を展開・充実するため、草津あんしんいきいきプラン第8期 計画(草津市高齢者福祉計画・草津市介護保険事業計画)に基 づく施策を推進します。</p>	<p>⑭ 新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、死亡者や重症者 の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染 症のまん延の防止を目指します。</p>
----------------	---	--	--	---	--	--	--

<p>3. 目標達成のための取組と成果目標</p>	<p>⑭ 【取組】 草津市在宅医療介護連携センターの運営を委託し、コロナ禍において 在宅医療と介護の連携体制を確保するため、センターの人員強化を図り相 談業務、各種会議や研修を実施します。 【成果目標】 ・多職種連携推進会議の開催 3回(令和3年度実績:3回) ・多職種連携交流会の開催 6回(令和3年度実績:6回) ・くさつ在宅医療ネット会議の開催 6回(令和3年度実績:4回)</p>	<p>⑮ 【取組】 当該プランの策定に向けて、学識経験者や関係機関の代表者、公募市民 等で構成する草津市あんしんいきいきプラン委員会を開催し、内容の検討を 進めるとともに、本市の高齢者の現状や地域の実態などを把握するための アンケートおよび聞き取り調査を実施します。 【成果目標】 ・草津市あんしんいきいきプラン委員会の開催 2回(令和3年度実績:2回) ・草津市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施 ・草津市在宅介護実態調査の実施</p>	<p>⑯ 【取組】 令和2年7月に「草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」を施行した ことから、認知症への理解をより深めていただくための市民講座を開催しま す。また、認知症の人とその家族が安心して外出し、地域で暮らし続けるこ とができるよう、引き続き認知症高齢者等個人賠償責任保険事業等に取り組 みます。 【成果目標】 ・認知症市民講座の開催 ・認知症高齢者等個人賠償責任保険事業登録者数 250人(令和3年度実 績:222人)</p>	<p>⑰ 【取組】 コロナ禍に伴う高齢者の外出機会が減少し、生活機能の低下やフレ イル状態が進むことを防止するため、感染予防対策を図りつつ、身近な地域 で社会参加・つながりを通じた介護予防活動ができるよう、地域サロンやい きいき百歳体操等の開催を支援します。 また、こうした地域活動に専門職が関わり、フレイル予防に取り組む機会 を確保します。 【成果目標】 ・フレイル予防連続教室の開催 2ヶ所(令和3年度実績:2ヶ所) ・地域サロン等への専門職の派遣 23回(令和3年度実績:21回)</p>	<p>⑱ 【取組】 高齢者の増加やニーズの多様化に対応し、コロナ禍での感染防止策を講 じたうえで適切な相談支援を継続できるよう、タブレット端末等のICTを活用 することにより、業務の効率化を図りながら地域包括支援センターを運営しま す。 【成果目標】 地域包括支援センターの相談件数 22,000件(令和3年度実績 20,805件)</p>	<p>⑲ 【取組】 地域の関係者や専門職による地域ケア個別会議や地域ケア推進会議を通 じて、個別事例から地域課題を抽出し、課題解決に向けた対策や取組を検 討します。 【成果目標】 地域ケア会議における検討事例数 120事例(令和元年度 118事例、令和 2年度 140事例、令和3年度 147事例) (草津あんしんいきいきプラン第8期計画 令和5年までの目標 累計400事 例)</p>	<p>⑳ 【取組】 草津あんしんいきいきプラン第8期計画に基づき、介護サービスの適切な確 保を図るとともに、不適切な給付を削減し、介護保険制度の信頼感を高めま す。 【成果目標】 介護給付適正化主要5事業の継続実施 ・認定調査状況チェック … 全件チェック (令和3年度実績 全件チェック 3,537件) ・ケアプランの点検 … 60件/年度(令和3年度実績 62件) ・住宅改修等の点検 … 全件点検(令和3年度実績 全件点検 742件) ・「医療情報との突合」・「縦覧点検」 … 全件点検 (令和3年度実績 全件点検 審査支払手数料件数 131,356件) ・介護給付費通知 … 任意月の給付実績がある被保険者に全件通知 (令和3年度実績 令和3年4月給付者3,885人全件通知)</p>	<p>㉑ 【取組】 医療従事者や関係機関の協力を得ながら、市が実施する集団接種と各医 療機関による個別接種を併用し、市民の皆様が安心して接種いただける 接種・運営体制の構築を図ります。 【成果目標】 2回目接種者における3回目接種率80%の達成</p>
---------------------------	--	---	---	---	--	---	--	--

<p>4. 課題解決に向けた令和4年度の具体的な取組 【年度末実績】</p>	<p>主 ⑭ 【取組実績】 草津市在宅医療介護連携センターを中心に、医療と介護の専門職 に対する相談業務や情報提供、各種会議や研修の実施を通じて、 在宅医療と介護の連携体制の充実・強化を図りました。 【成果目標実績】 ・多職種連携推進会議の開催 3回 ・多職種連携交流会の開催 6回 ・くさつ在宅医療ネット会議の開催 5回</p>	<p>主 ⑮ 【取組実績】 草津市あんしんいきいきプラン委員会を開催し、これまでの事業の 評価を行い、次期計画を見据えた本市の高齢者の現状や実態など を把握するための調査項目を検討し、アンケートおよび聞き取り調 査を実施しました。 【成果目標実績】 ・草津市あんしんいきいきプラン委員会の開催 3回 ・草津市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施 ・草津市在宅介護実態調査の実施</p>	<p>⑯ 【取組実績】 認知症の正しい知識と理解を深め、認知症の人やその家族を自分 のできる範囲で助ける意識の醸成を図るため、市民講座等を開催しま した。 また、認知症の人とその家族が安心して外出し、地域で暮らし続ける ことができるよう、認知症高齢者等個人賠償責任保険事業等に取り組 みしました。 【成果目標実績】 ・認知症市民講座の開催 ・認知症高齢者等個人賠償責任保険事業登録者数 264人</p>	<p>⑰ 【取組実績】 生活機能の低下やフレイル状態が進むことを防止するため、感染 予防対策を図りつつ、身近な地域で社会参加・つながりを通じた介 護予防活動ができるよう、地域サロンやいきいき百歳体操等の開催 を支援しました。 また、こうした地域活動に専門職が関わり、フレイル予防に取り組 む機会を確保しました。 【成果目標実績】 ・フレイル予防連続教室の開催 2ヶ所 ・地域サロン等への専門職の派遣 39回</p>	<p>⑱ 【取組実績】 各地域包括支援センターへのタブレット端末の配置を1台から3台 へ増設する等、ICTを活用することにより、業務の効率化を図りなが ら地域包括支援センターを運営することができました。 【成果目標実績】 地域包括支援センターの相談件数 22,138件</p>	<p>⑲ 【取組実績】 地域ケア個別会議の事例検討から地域課題を抽出するとともに、 課題解決を図るための地域づくりの取組を進めました。 【成果目標実績】 地域ケア会議における検討事例数 128事例</p>	<p>⑳ 【取組実績】 草津あんしんいきいきプラン第8期計画に基づき、適切な介護サー ビスの確保を図るため、介護給付適正化主要5事業を実施しました。 【成果目標実績】 介護給付適正化主要5事業の継続実施 ・認定調査状況チェック(対象全件チェック 3,855件) ・ケアプランの点検(61件) ・住宅改修等の点検 (対象全件点検:福祉用具購入 391件、住宅改修 303件) ・「医療情報との突合」・「縦覧点検」 (国保連合会への委託により全件実施 138,970件) ・介護給付費通知(令和4年4月給付者 4,033人全件通知)</p>	<p>主 ㉑ 【取組実績】 医療従事者や関係機関の協力を得ながら、市が実施する集団接種 と各医療機関による個別接種を併用し、安心して接種いただける 接種・運営体制の構築を図り、接種を推進しました。 【成果目標実績】 2回目接種者における3回目接種率83%</p>
--	---	---	---	---	--	--	--	---